

# クリタの水管洗浄剤 **クリンストリーム® U-100**

冷却水系のレジオネラ対策は万全ですか？

レジオネラ属菌を防ぐため

## 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）

記載の冷却水系管理（一部引用）

- ① 冷却塔及び加湿装置に供給する水は、水道法の水質基準に適合していること。
- ② 冷却塔及び冷却水について、使用期間中1ヶ月以内ごとに1回定期的に汚れの状況を点検し、必要に応じ清掃、換水等をおこなうこと。
- ③ 冷却塔、**冷却水の水管**及び加湿装置の**清掃を1年以内ごとに1回**定期におこなうこと。

**水管洗浄**



レジオネラ属菌の顕微鏡写真

### レジオネラ属菌

- 四類感染症に指定（日本脳炎・狂犬病と同レベル）
- レジオネラ属菌は、自然界の土壌と淡水に生息する土壌細菌で36℃前後の水が停滞または循環する冷却水中で最も繁殖します。外気とともに冷却塔に入り、冷却塔内で繁殖し、冷却水の飛散とともに飛び散ります。そして、人の呼吸器系に侵入した場合はレジオネラ症を引き起こす可能性が高くなります（肺炎・高熱）。

### 「レジオネラ症防止指針」財団法人ビル管理教育センター監修

- ① 冷却水系の感染危険度を周囲の環境、感染する人の状態によってスコア化→そのスコアに応じた**検査頻度**を明記
  - 冷却水系のレジオネラ属菌の検査は**およそ年に2回の実施**が目安です。
- ② 冷却水系では

**100CFU\*/100mL以上の**

**レジオネラ属菌が検出!**

\* CFU=Colony Forming Unit

**直ちに菌数を減少させる対策が必要**

### 「夏場はレジオネラ除菌対象件数が急増!」

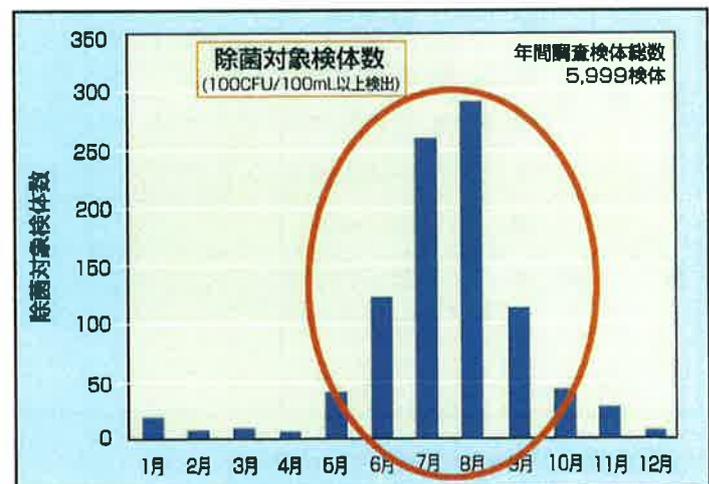
- 設備の負荷が上がる夏場は、冷却水温が上昇し、レジオネラ属菌が繁殖しやすくなります。

**除菌対策が必要な件数が大幅に増加!**

表2 レジオネラ症防止指針によるスコア化と検査頻度

点数	病院	老人施設	特定建築物	年間検査回数	検査時期	
					稼働初期	稼働中
4				1回以上	●	○
5	■	■	■	1回以上	●	○
6				2回以上	※●	※●
7	■	■		2回以上	●	●
8	■			2回以上	●	●
9				3回以上	●	●

※ 弊社推奨



**クリタは水管洗浄によりレジオネラ属菌発生リスクを低減するプログラムを提案します!**